

昔話法廷

ねらいと展開

第8話「さるかに合戦」裁判

本時のねらい

- ・被告人の猿を死刑にするかしないかについて、法廷でのやり取りを多面的・多角的に考察し、公平・公正に判断することができる。
- ・根拠を明確にして自分の考えを適切に表現するとともに、他者の意見に耳を傾けることができる。
- ・他者との話し合いを通じて、「命の重さ」や「償いの意味」、「人が人を裁くことの責任の重さ」などについて考えを深める。また、死刑制度に関する自分なりの価値観を養う。

展開例 ※()は中高の時間 可能ならば2時間で実施することが望ましい

時間の目安	主な学習活動	指導上の留意点
	1. 授業内容を確認し、番組を視聴する。 ※番組の長さは20分。	
22分	<ul style="list-style-type: none">・今回の授業内容や流れを理解する。・裁判員の1人になったつもりで、中立の立場で番組を視聴する。・番組を視聴しながら、証拠や証言、その他気になったことを「証拠検討表(上部)」にメモする。	<ul style="list-style-type: none">・番組視聴後、裁判員として判決を考え、話し合うことを確認する。・先入観を持たないよう、昔話の内容は説明しない。・法廷でのやり取りだけを根拠にして判断することを確認する。・「証拠検討表」を配付する。・番組を視聴しながら、判決を考える上で根拠になりそうなことをメモするよう指導する。
	2. 裁判の争点を確認する	
3分	<ul style="list-style-type: none">・裁判の争点は、罪を認めている猿を死刑にするか、それとも死刑にはしないかということを確認する。	<ul style="list-style-type: none">・裁判の争点を簡潔に説明する。・死刑にしない場合の量刑については、特に説明する必要はない。・死刑にするかしないか(命で償うべきか否か)という点に焦点を絞るようにする。・写真(HPにアップしてある)を用いて、黒板に登場人物の関連図を示すと分かりやすい。その際は、時間短縮を図るため、事前に黒板に掲示しておくのが望ましい。

時間の目安	主な学習活動	指導上の留意点
3. 証拠や証言を整理し、自分の考えをまとめる。		
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・番組視聴中のメモをもとに、証拠や証言、その他気になったことを「証拠検討表(下部)」に整理する。 ・自分の考え(判決)を決め、その理由を「判決用紙(上部)」に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箇条書きで、簡潔に整理するよう指導する。(メモがしっかり書けていれば、時間はかからない) ・「判決用紙」を配付する。 ・判決の理由をしっかりと書くよう指導する。
4. 自分の考えを発表し、グループ(またはクラス全体)で話し合う。		
15分 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、司会を決める。 ・1人ずつ、自分の考え(判決と理由)を発表する。 ・グループで話し合い、「なるほど」と思った意見を「判決用紙(下部)」にメモする。(クラスの実態に応じて、クラス全体で話し合ってもよい。その場合、司会は教員が担ってもよい) <p>※2時間で実施する場合は、グループのメンバーを替えて再度話し合いを行い、自分の考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の際は、結論(判決)を述べてから理由を説明するよう指導する。 ・他者の意見をメモするよう指導する。 ・他者の意見をよく聞き、質問や反論をして自分の考えを深めるよう指導する。ただし、相手を言い負かすことが目的ではないことを確認する。 ・話し合いの途中で意見が変わってもよいことを確認する。 ・教室内を巡視し、新たな視点を提示するなどして、話し合いが活性化するよう促す。その際に、「論点表」を参考にするとよい。
5. 話し合いを踏まえ、最終的な自分の考えをまとめる。		
宿題	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見も参考にしながら、最終的な自分の考えをまとめ、「宿題用紙(上部)」に書く。 ・今回の裁判に限らず、自分が感じたことを、「宿題用紙(下部)」に書く。 <p>※2時間で実施し、時間に余裕がある場合は、授業時間内に書く。その上で、何名かが発表し、クラス全体で共有してもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「宿題用紙(上部)」には、はじめの判断から考えが変わった人は「考えを変えた理由」を書き、考えが変わらなかった人は「自分とは反対の意見で“なるほど”と思ったもの」を書くよう指導する。 ・「宿題用紙(下部)」には、「命の重さ」や「償いの意味」、「人が人を裁くことの責任の重さ」などのテーマで、死刑制度に関する自分の考えを書くよう指導する。